

# 概況の整理

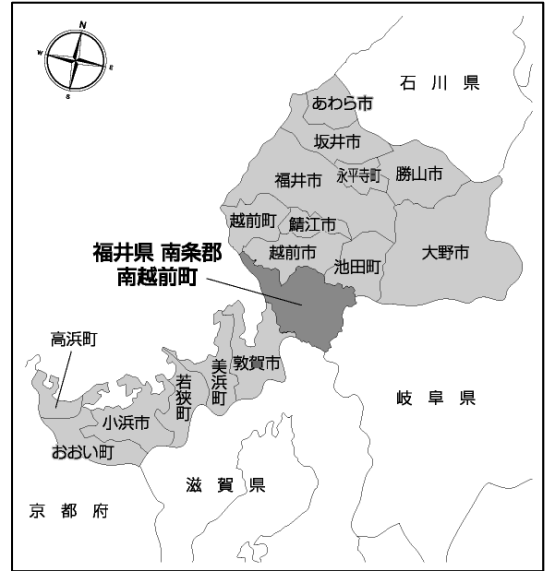
## 1. 地勢

本町は、福井県のほぼ中央、嶺北地域の南端に位置し、北は、越前市、越前町と池田町、東および南は岐阜県と滋賀県、西は敦賀市と日本海に接しています。山・海・里の地形の変化に富んだ自然豊かな町であり、南条地域と今庄地域は平地で繋がっていますが、河野地域は 2 地域とは山地で分断されています。

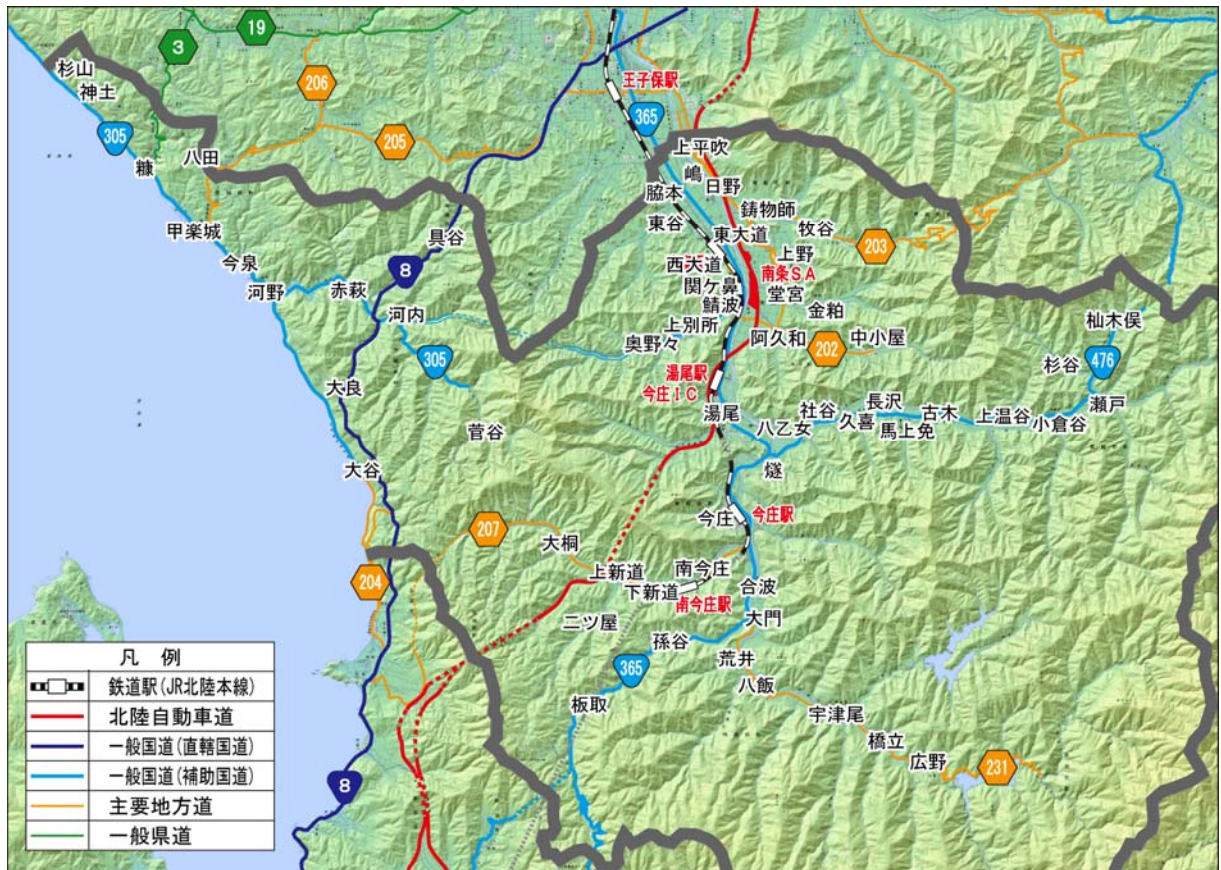
町土面積は福井県全体の 8.2% にあたる 343.84k m<sup>2</sup> を有し、地形は極めて急峻であり、総面積の約 92% が山林で占められています。

J R 北陸本線が町の南北を縦走しており、南条・今庄地域は、隣接している越前市と敦賀市へ JR 北陸本線により容易に往来できます。また、北陸自動車道や国道 8 号と国道 365 号が、北陸地方と関西・中京方面を結ぶ広域高速交通として、町の南北を縦走しています。

位置図



地勢図



## 2. 人口・世帯

### (1) 人口

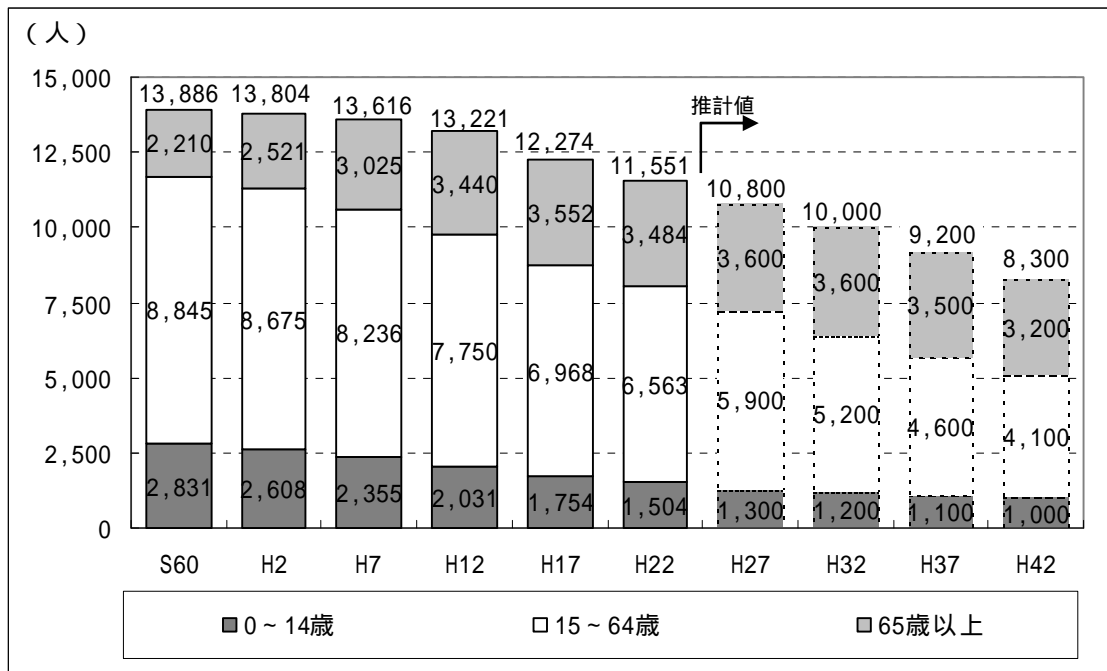
本町の人口は、11,551人（平成22年10月1日時点）で、これまでは緩やかな減少傾向で推移していましたが、今後は減少傾向が顕著になっていくことが想定（平成17年と平成22年値によるコーホート変化率法による試算）されます。

現在、町民の約3人に1人が高齢者（65歳以上）となっていますが、さらなる少子高齢化の進行が想定されます。

コーホートとは、同年（または同期間）に出生した集団のことをいい、コーホート変化率法とは、コーホートごとの5年間の人口増減を変化率としてとらえ、その率が将来も大きく変化しないものと仮定し、0～4歳の子ども人口は、15～49歳女子人口との比率により推計する方法です。

人口の推移と将来予測

	S60	H2	H7	H12	H17	H22	H27	H32	H37	H42
0～14歳	2,831	2,608	2,355	2,031	1,754	1,504	1,300	1,200	1,100	1,000
割合	20%	19%	17%	15%	14%	13%	12%	12%	12%	12%
15～64歳	8,845	8,675	8,236	7,750	6,968	6,563	5,900	5,200	4,600	4,100
割合	64%	63%	60%	59%	57%	57%	55%	52%	50%	49%
65歳以上	2,210	2,521	3,025	3,440	3,552	3,484	3,600	3,600	3,500	3,200
割合	16%	18%	22%	26%	29%	30%	33%	36%	38%	39%
総人口	13,886	13,804	13,616	13,221	12,274	11,551	10,800	10,000	9,200	8,300



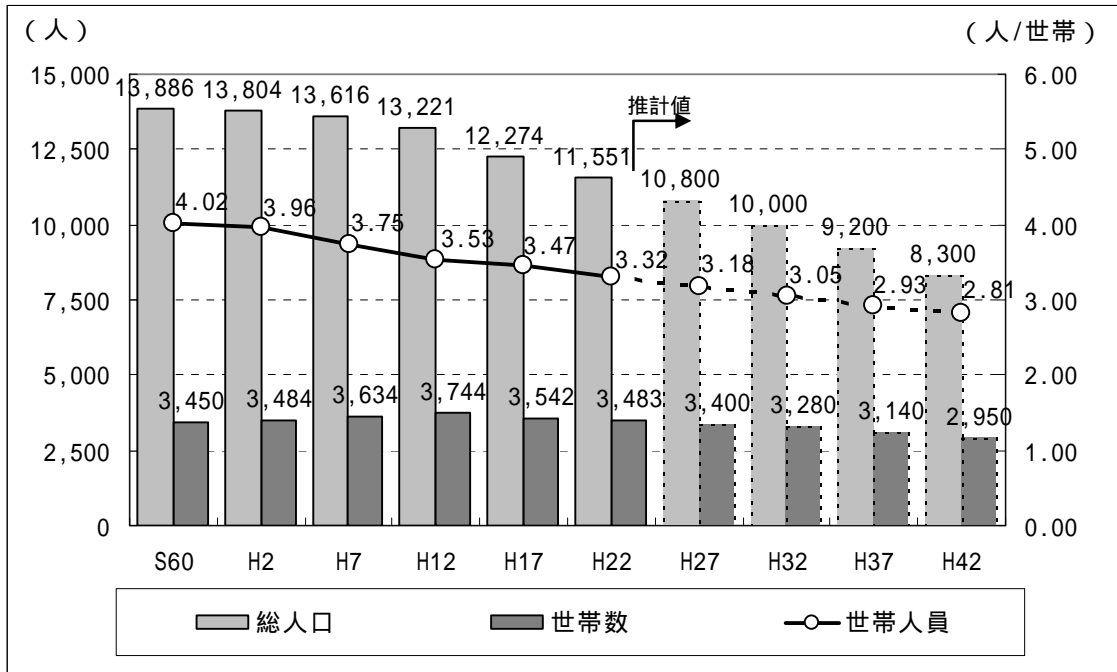
出典：国勢調査（S60-H22）

## (2) 世帯・世帯人員

近年では世帯人員ならびに世帯数が減少傾向にあり、今後も減少傾向が続くことが想定（昭和60年から平成22年値による関数回帰式による試算）されます。

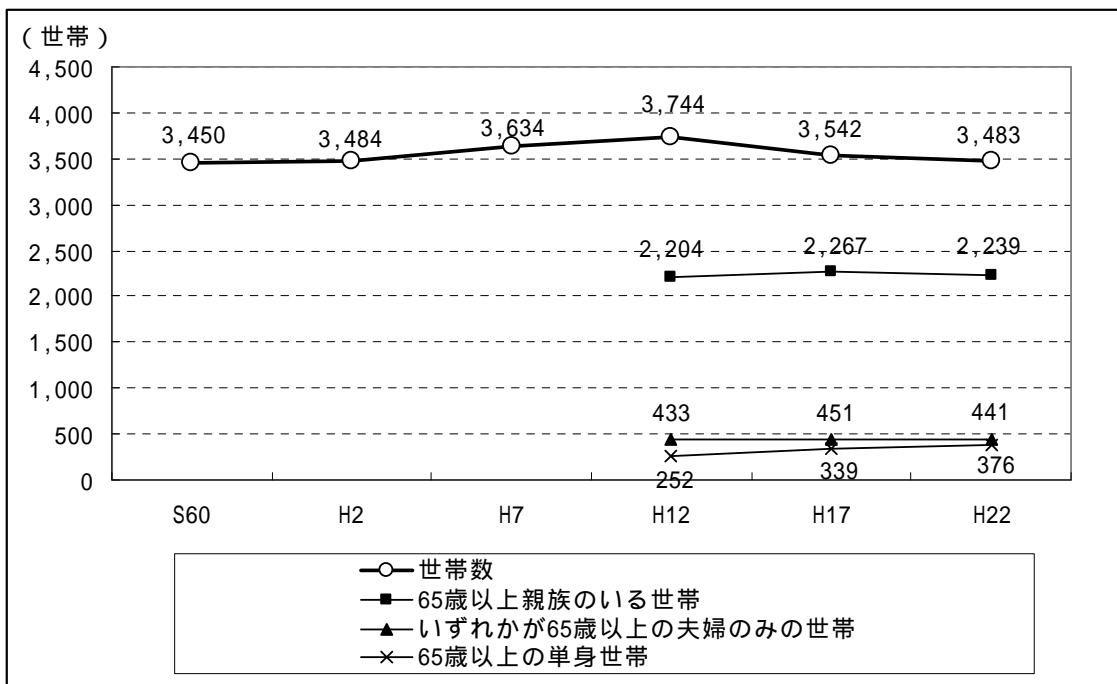
世帯数および高齢者の減少にともない、高齢者のいる世帯は減少に転じましたが、高齢者単身世帯の増加が続いており、さらなる増加が危惧されます。

世帯数・世帯人員の推移と将来予測



出典：国勢調査（S60-H22）

高齢者のいる世帯数の推移



出典：国勢調査（H22）

### (3) 集落分布

山間地には小規模で高齢化が進行している集落が点在しており、高齢化率 50%以上の集落が 6 集落(町会) 特に小規模高齢化集落(高齢化率 50%以上、世帯数 20 戸未満の集落)が 2 集落(大桐、上温谷)あり、今後の少子高齢化の進行による集落減少が危惧されます。

いわゆる限界集落のことで、過疎化・高齢化が進展していく中で、経済的・社会的な共同生活の維持が難しくなり、社会単位としての存続が危ぶまれている集落のことです。

世帯数・高齢化率別の集落数

高齢化率 世帯規模	0~ 9%	10~ 19%	20~ 29%	30~ 39%	40~ 49%	50~ 59%	60~ 以上	計	割合
0~9世帯			1			1		2	4%
10~19世帯			1	2	2	1		6	12%
20~29世帯			4	6	1	3		14	27%
30~39世帯			2	5				7	14%
40~49世帯		1	2	2	1	1		7	14%
50~59世帯			1		1			2	4%
60~69世帯			2					2	4%
70~79世帯					1			1	2%
80~89世帯		1						1	2%
90~99世帯								0	0%
100世帯以上		1	4	4				9	18%
計	0	3	17	19	6	6	0	51	100%
割合	0%	6%	33%	37%	12%	12%	0%	100%	

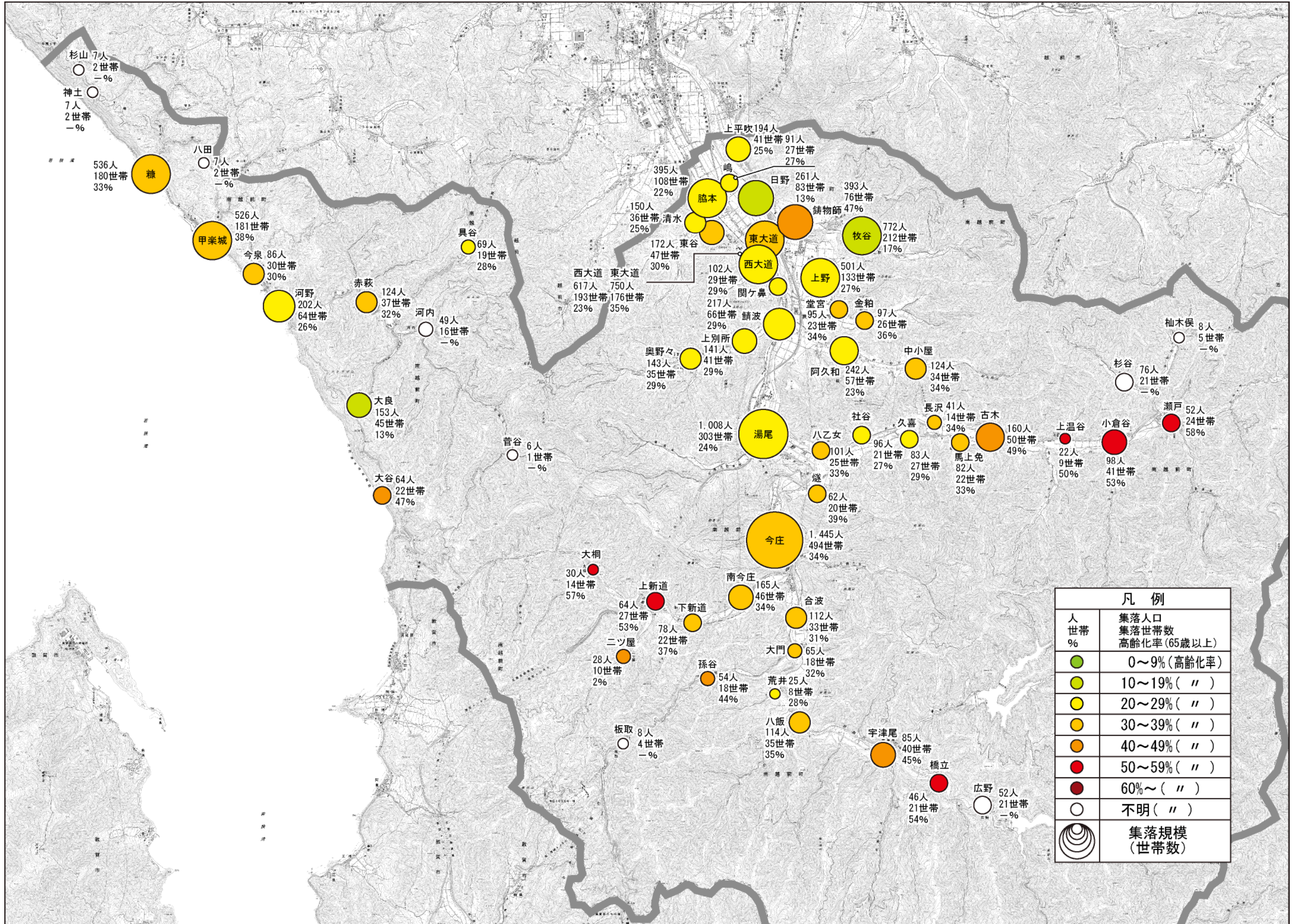
出典：国勢調査（H22）

各集落（町会）の人口・世帯および高齢化率

	人口	世帯数	高齢化率		人口	世帯数	高齢化率		人口	世帯数	高齢化率
瀬戸	52	24	58%	中小屋	124	34	34%	社谷	96	21	27%
大桐	30	14	57%	堂宮	95	23	34%	河野	202	64	26%
橋立	46	21	54%	長沢	41	14	34%	上平吹	194	41	25%
小倉谷	98	41	53%	糠	536	180	33%	清水	150	36	25%
上新道	64	27	53%	八乙女	101	25	33%	湯尾	1,008	303	24%
上温谷	22	9	50%	馬上免	82	22	33%	西大道	617	193	23%
古木	160	50	49%	赤藪	124	37	32%	阿久和	242	57	23%
鑄物師	393	76	47%	大門	65	18	32%	脇本	395	108	22%
大谷	64	22	47%	合波	112	33	31%	牧谷	772	212	17%
二ツ屋	28	10	46%	東谷	172	47	30%	日野	261	83	13%
宇津尾	85	40	45%	今泉	86	30	30%	大良	153	45	13%
孫谷	54	18	44%	鯖波	217	66	29%	杉谷	76	21	-
燧	62	20	39%	上別所	141	41	29%	広野	52	21	-
甲楽城	526	181	38%	奥野々	143	35	29%	河内	49	16	-
下新道	78	22	37%	関ヶ鼻	102	29	29%	杣木俣	8	5	-
金粕	97	26	36%	久喜	83	27	29%	板取	8	4	-
東大道	750	176	35%	具谷	69	19	28%	杉山	7	2	-
八飯	114	35	35%	荒井	25	8	28%	八田	7	2	-
今庄	1,445	494	34%	上野	501	133	27%	神土	5	2	-
南今庄	165	46	34%	嶋	91	27	27%	菅谷	6	1	-

出典：国勢調査（H22）

人口分布図





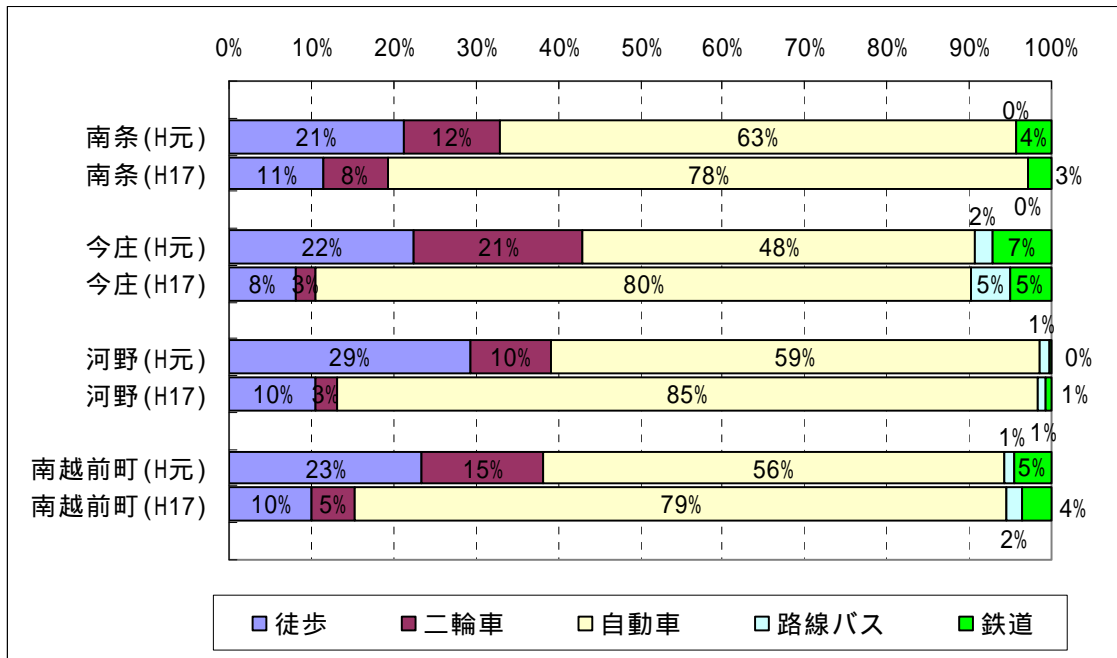
### 3. 移動特性

#### (1) 地域別の交通手段

南越前町では、平成17年時点において交通手段の約8割を「自動車」が占めており、平成元年の1.4倍になっています。

今庄地域では、「自動車」の割合が平成元年の1.7倍に増加した一方、「路線バス」の利用が増加しています。

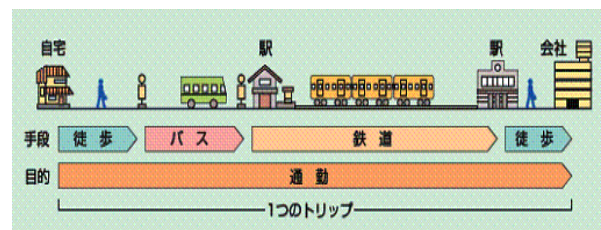
地域別・代表交通手段別の発生集中量の割合



出典：第3回福井都市圏パーソントリップ調査

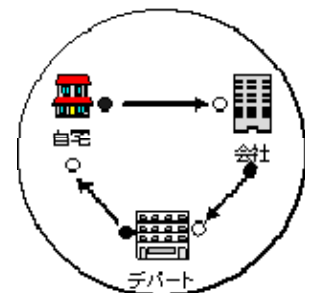
#### 【トリップ】

- ・人がある目的をもってある地点からある地点へ移動する単位をトリップといいます。
- ・トリップは、移動の目的が変わるごとに1つのトリップと数えます。
- ・例えば、朝、自宅を出て会社に着し、夕方に会社を出て自宅に戻った場合は、通勤が1トリップ、帰宅が1トリップの合計2トリップになります。



#### 【発生集中量】

- ・ある地域の発生量と集中量を加えたもの(単位: トリップエンド/日)をいいます。矢印の線の数がトリップ(右図は3トリップ)、矢印の両端(と)の数がトリップエンド(下の図では6トリップエンド)に相当します。



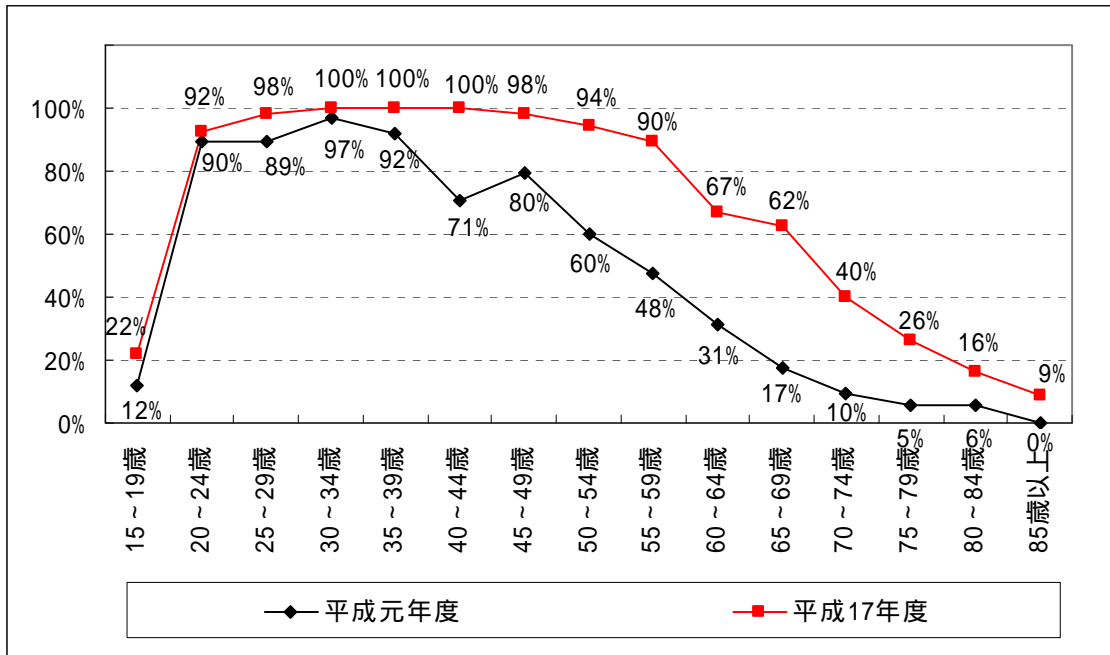
出典：第3回福井都市圏パーソントリップ調査

## (2) 自動車運転免許保有別の交通手段

50歳以上の自動車運転免許保有割合が顕著に増加しており、これが本町での「自動車」の移動割合が増加した要因であることが伺えます。

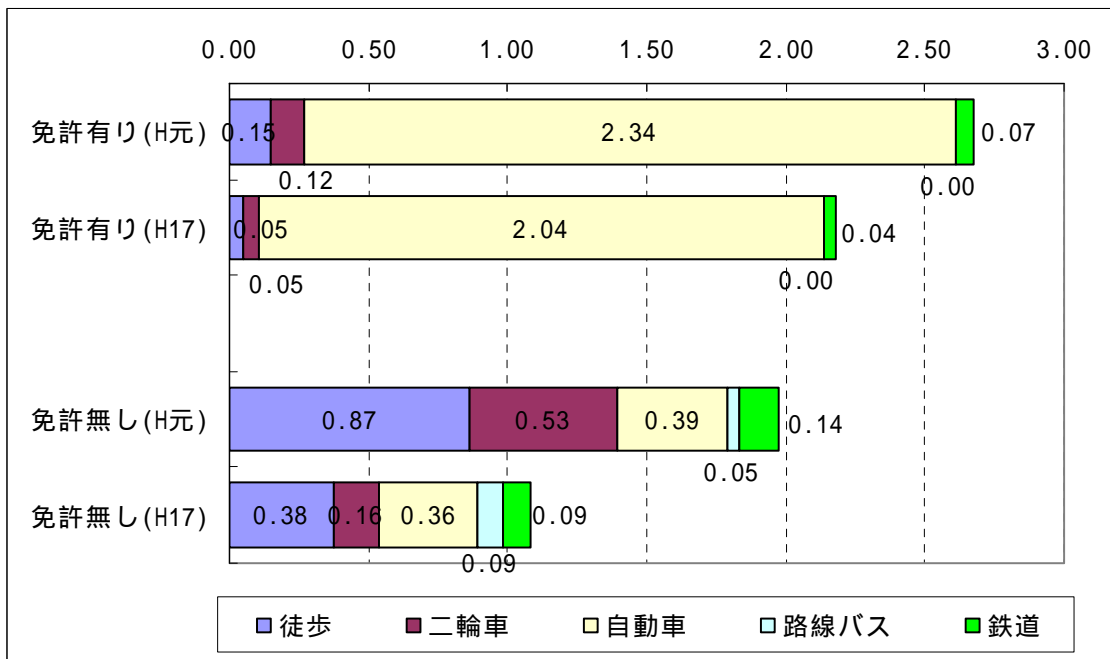
また、自動車運転免許を持たない方の移動（トリップ）は、免許を持つ方に比べて少なく、移動が制限されていることが伺えます。なお、移動の約1/3が自動車による送迎となっています。

年齢階層別の自動車運転免許保有割合



出典：第3回福井都市圏パーソントリップ調査

自動車運転免許有無別・代表交通手段別の原単位（トリップ/日人）



出典：第3回福井都市圏パーソントリップ調査



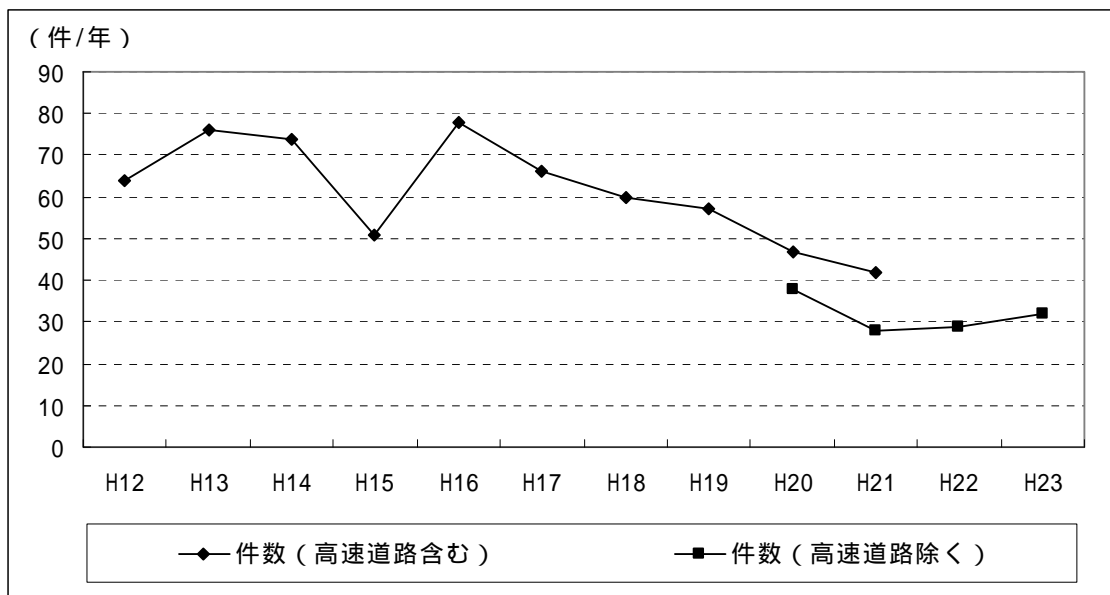
## 4. 交通事故

町内で発生する交通事故（人身事故）の発生件数は、減少傾向にあります。

しかしながら、平成 23 年度における高齢者（第 1 当事者）の免許人口当たりの交通事故発生状況は、県内ワースト 2 となっています。

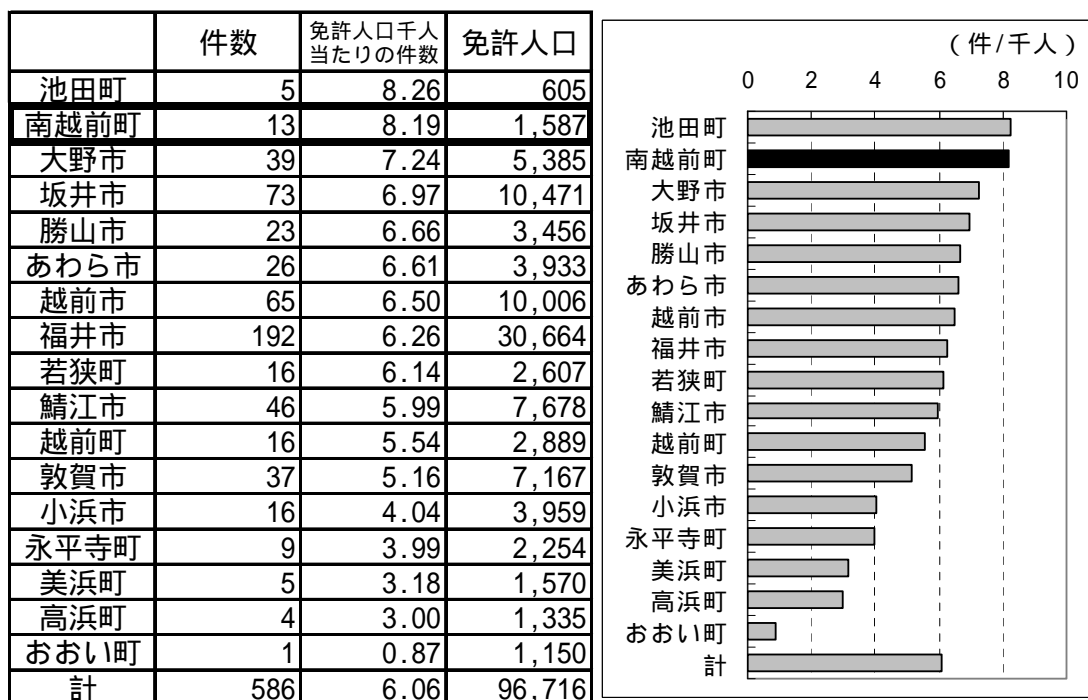
「第 1 当事者」とは、最初に交通事故に関与した車両等（自転車を含む）の運転者又は歩行者のうち、この事故における過失の重いものをいいます。

交通事故（人身事故）の発生件数



出典：福井県統計年鑑（H12～H22 年版）、福井県警交通事故統計（H23）

平成 23 年度 高齢者（第 1 当事者）の交通事故発生状況（居住地別）



出典：福井県警交通事故統計（H23）

## 5 . 公共公益施設

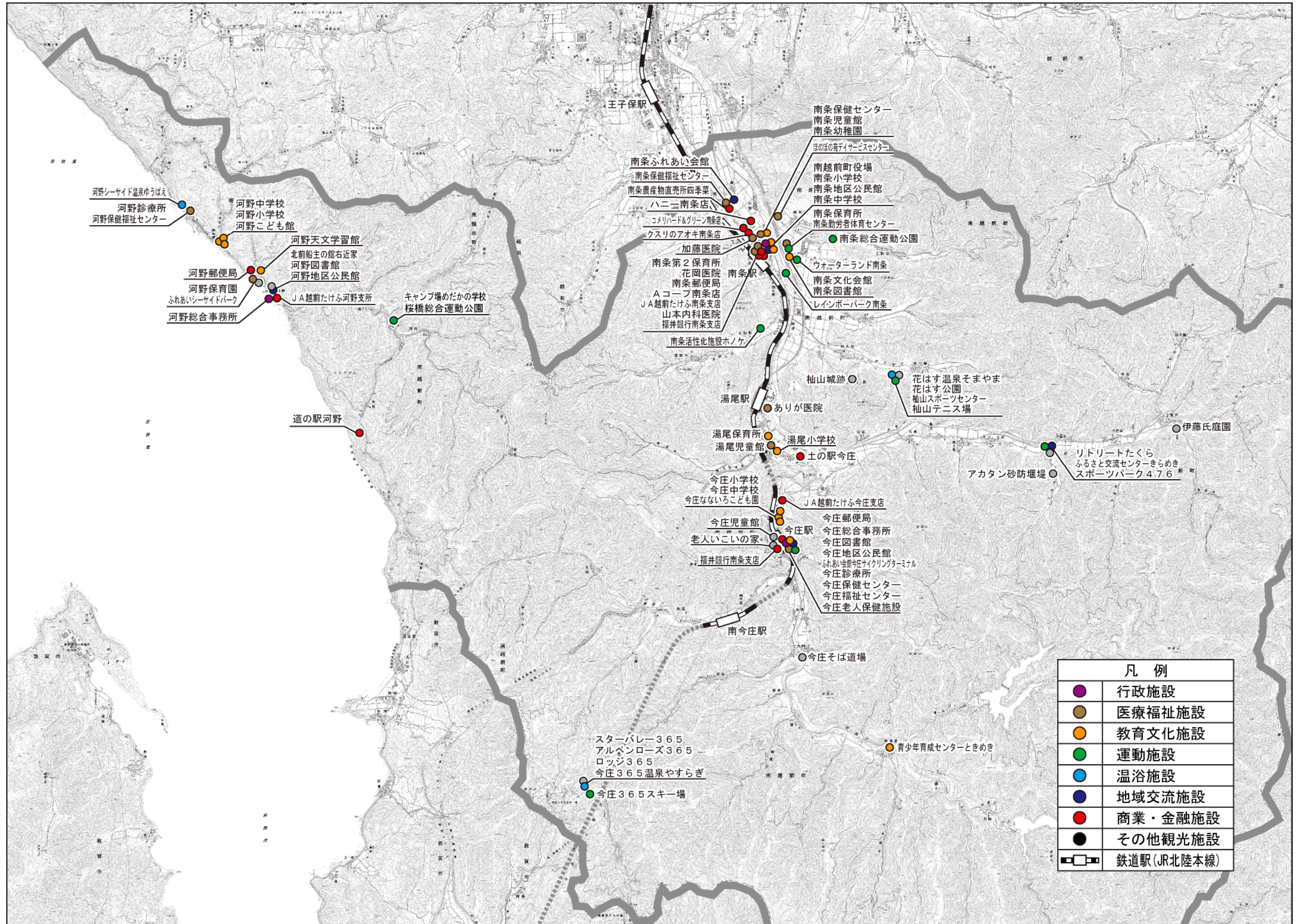
町内では、南越前町役場の周辺に公共公益施設や生活利便施設が立地しています。今庄地域や河野地域においては、南条地域に比べて施設の数が少ない状況にあります。

町内には、診療体制が充実した総合病院や大規模商業施設は立地していないことから、住民は必要に応じて隣接する越前市などへ移動しています。

### 各地域の主な公共公益施設

<p>南条地域</p> <p>南越前町役場（改修中）</p> 	<p>今庄地域</p> <p>今庄総合事務所</p> 	<p>河野地域</p> <p>河野総合事務所</p> 
<p>南条保健福祉センター</p> 	<p>今庄診療所</p> 	<p>河野診療所</p> 
<p>花はす温泉そまやま</p> 	<p>今庄 365 温泉やすらぎ</p> 	<p>河野シーサイド 温泉ゆうばえ</p> 
<p>JR 南条駅</p> 	<p>JR 今庄駅</p> 	

公共公益施設分布図



凡例	
● (Purple)	行政施設
● (Brown)	医療福祉施設
● (Yellow)	教育文化施設
● (Green)	運動施設
● (Blue)	温浴施設
● (Dark Blue)	地域交流施設
● (Red)	商業・金融施設
● (Black)	その他観光施設
■ (Train Icon)	鉄道駅 (JR北陸本線)

